

一般質問通告書

8年 5月 22日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員

伊藤 千春

下記のとおり質問したいので通告します。

記

| | |
|-------|---|
| 書画カメラ | <input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。 |
|-------|---|

| | |
|---------------------|---|
| 件名 | 次代を担う子ども教育改革を |
| 質問項目及び要旨 (具体的内容) | 1. 本市教育の現状認識と今後の教育改革について以下を問う。 (1) 本市における不登校、長期欠席、自己肯定感、教育格差等に対する認識及び課題認識は。 (2) AI 時代・SNS 社会・情報過多社会を踏まえた現在の教育課題をどのように分析し、今後どのような教育を目指していく考えか。 (3) 東京都渋谷区等の探究型教育を踏まえた、知識を教える教育から自ら考える力を育てる教育への転換を、今後どのように進めていく考えか。 (4) 教育を人口減少対策、定住促進、子育て支援を含めた本市の未来を左右する最重要政策として、どのように位置付け、教育で選ばれるまちを目指していく考えか。 2. 先進自治体を踏まえた金融教育について以下を問う。 (1) 若年層を狙った消費者被害、SNS 型投資詐欺、オンラインカジノ、闇バイト問題等を踏まえた、本市の金融リテラシー不足に対する現状認識は。 (2) 金融教育を、お金の知識ではなく、“人生設計力”“判断力”“自己防衛力”“社会的自立”を育む生きる力の教育としてどのように認識しているか。 (3) 福岡市等の金融機関連携型金融教育を踏まえた実社会に直結した学びを本市としてどのように評価しているか。 (4) SNS 型詐欺、ネットトラブル、オンライン課金問題等から子どもたちを守る教育を、今後どのように進めていく考えか。 |

| | |
|--------------|--|
| | <p>(5) 小中学校段階から、お金の価値、契約責任、消費者意識、資産形成基礎等を学ぶ体系的金融教育をどのように進めていく考えか。</p> <p>(6) 金融教育を、キャリア教育、主催者教育、消費者教育等と横断的に結び付けた教育をどのように進めていく考えか。</p> <p>(7) 金融機関、地域企業、外部専門人材等と連携した、弥富市版実践型金融教育を研究・導入していく考えは。</p> <p>3. 一貫教育による切れ目のない教育について以下を問う。</p> <p>(1) 広島県府中市等の義務教育一体型改革を踏まえた、切れ目のない成長支援を本市としてどのように認識しているか。</p> <p>(2) 小学校入学時及び中学校進学時における環境変化に対し、長期視点で子どもの成長を支える教育をどのように進めていく考えか。</p> <p>(3) 一貫教育による、不登校予防、非認知能力育成、自己肯定感向上、人間関係形成力向上等への効果をどのように認識しているか。</p> <p>(4) 幼保小連携、小中連携、長期視点カリキュラム、切れ目のない支援体制を含めた、“弥富市型一貫教育”をどのように研究・推進していく考えか。</p> <p>(5) 今後の教育改革の柱として、一貫教育をどのように位置付けていく考えか。</p> <p>(6) “弥富市だからこそできる教育”をどのように構築し、“教育で選ばれるまち”目指していく考えか。また、一貫教育について、今後どのような方向性で研究・整理を進める方向性は。</p> |
| <p>答 弁 者</p> | <p>市長・教育長・担当部課長</p> |